

## その1 朝から新ネタの開発に余念がない

### その1 朝から新ネタの披露

この日、りんご温泉の取材をするためエコミュージアムルーム(よう子お姉さんがいるところ)で、案内人さんの遠藤さんを待っていたウサヒ。

でも、9時になっても遠藤さんが来ない…？

まさか？……予感的中

電話で遠藤さんがりんご温泉で待っていることがわかりました。

どうやらウサヒが待ち合わせ場所を勘違いしていたようで、しかたなく徒歩でりんご温泉へと向かいます。



創遊館からりんご温泉は意外と距離がある…

今回のカメラマンである橋本くんとは体力面でかなりの差があり、完全に置いていかれた状態のウサヒ



「ちょ、ちょっとまってよ橋本くん(カメラ担当)。」



おなかも減ったし、のども渴いてもう限界……

そのときでした



「無人販売所発見！！」



欲望に忠実な動きをするウサビ



ウサビ 「うまそう……じゅるり……」



お金をはらって

遠藤さん 「朝からリンゴなんていいわね～」

ウサビ 「ギク！！」



遠藤さん登場（お待たせして本当に申し訳ないです）

とりあえず



本日の探検スタートです。

遠藤さん「今日は世界のりんご園に行った後、りんご温泉にいきましょう」

ウサビ「世界のりんご園？」

遠藤さん 「りんご温泉のすぐ下の農園では、商品用のりんごの他に、世界のさまざまな品種  
のりんごを栽培していて、見ても楽しめるりんご農園なのよ。」

ウサヒ 「おお、すごい。じゃあ今日はりんごづくしだね 」



りんご園に向かって歩き始めた2人(+カメラの橋本君)

すると

「おーい！うさぎさーん！」

どこからともなく声が



りんご温泉に来ているお客様からでした。

お客様「なんか面白いことしなさいよー」

まさかの注文。なんかやれって…

でも、やれといわれてやれないようじゃ芸人じゃない。

(ウサビは芸人ではなく着ぐるみです)

「じゃあ、側転やります！！」



たからかと手を上げるウサビ。

小学生時代の得意技が炸裂するか？

「えい！」



残念な結果



非常に残念な結果

……微妙な空気が流れる……

「じゃ、じゃあ、前転やるね！前転ならぜったいできるから！」

ハードルをだいぶさげての再チャレンジ



成功しなきゃ、取材ができない。

気合を入れます！



やってみるとわかるのですが、頭が大きいので手が地面につかない



頭がはずむ力を利用して回転



「よいしょっと」



「ほれ！見たかー！！！」

だいぶ難易度を下げたけど無事成功。

お客様も喜んで拍手をいただきました。

あらゆるリクエストに答える着ぐるみ。それが桃色うさひです。

さて、新ネタの公開もおわったところで、いよいよ世界のりんご園へ



うさひと世界のりんごがいよいよ出会います。

つづく